

点検結果報告書（令和4年度実績版）（案） 県民会議委員 意見照会結果

資料2-5

No	ページ	修正箇所	修正内容	修正理由	対応(案)	委員
1	0-8 3-2	10行目「進捗を高めて実施した結果」	「重点的に実施された結果」	「進捗を高めて」ではわかりにくい。(0-8, 3-2) 事業実施は県、報告書は県民会議作成のため「した」ではなく「された」が適当(0-8)	点検結果報告書に反映します。	吉村
2	0-8	11行目「初年度の令和4年度で38%と大幅な進捗となっている」	令和4年度は4期計画5年間の初年度にもかかわらず、38%と大幅な進捗となっている。	38%の数字に突然感があったので。	点検結果報告書に反映します。	岡田
3	0-8	5段落目 「水関係事業では…河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しているが、水環境への負荷軽減(…)に関しては、整備促進上の課題に対して…検討していくことで、水源河川の水質の維持向上への効果を期待したい」	「河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗している(整備が順調?水質も向上している?)が、水環境への負荷軽減(…)に関しては計画通りではない(整備率が高止まりしている?だから水質もあまり向上していない?)。整備促進上の課題に対して…検討していくことで、水源河川の水質の維持向上への効果を期待したい」	一つの文の中に、言いたいこと(整備の進捗と水質の向上)が混在して混乱する。整備の進捗なのか水質向上なのか整理して記載してほしい	地下水の保全再生は整備等の数値目標を設定していないため「河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗している」のままとし、「水源環境の負荷軽減(…)」に関しては点検結果報告書に反映します。	岡田
4	1-2	「(1)(2)水源林の確保・整備」の5~7行目 「確保実績の多くは環境保全分収林への契約変更による確保であり」 「今後は残された期間で可能な限り確保を進め」	・「県による確保実績の多くは環境保全分収林への契約変更による確保であり」 「今後は長期施業受委託を含めて残された期間で可能な限り確保を進め」	・P1-8の①水源林の確保実績を見ると、R4は長期受委託、環境保全分収林の順である。今後、県による確保の大幅な増加は見込めないものの、確保目標の達成に向けては、県による確保だけでなく長期施業受委託に期待せざるを得ないため、その視点を強調したらどうか。 ※よりわかりやすく伝えるため敢えて修正を提案するもので、原文のままでも大きな問題はありません。	点検結果報告書に反映します。	小林
5	1-4	2事業モニタリング調査結果 〈調査結果〉2行目400本/haから600本/ha前後まで低下していた。		〈調査結果〉2行目400本/haから600本/ha前後まで低下していた。とありますが、低下の意味が理解できませんでした。	低下→減少に修正します。	宮下
6	1-5	図 令和4年度に調査した4地点の樹高階分布(0.25ヘクターあたり)	字が小さく不鮮明で読みづらいため読みやすくする必要があります。		図の文字等を修正しました。	宮下
7	3-4	2事業モニタリング調査結果	(調査結果の概要)②植生調査で種数、植生高については、一方で、破損した柵では種数、植生高とも減少したとあり、どうしてそのようになったのでしょうか。一方、林床植被率については、破損した柵でも植被率の大きな現象は見られなかったとありますが、どのような要因がそのようにさせたのでしょうか。確かに、種数、植生高と林床比率の違いはありますが同じ傾向がみられても良いかと思いました。		柵の破損直後からシカが侵入し、採食による植生への影響がみられたものと思われます。一方、柵破損後1年未満で、柵内には不嗜好植物も現存するため、植被率低下にまでは至らなかったと思われます。報告書に記載します。	宮下
8	4-1		【ねらい】で(注)とあり、最下段の方では、注とあり、これにも()をつけたほうがよいと思います。		点検結果報告書に反映します。 4-2, 7-1, 7-2, 7-4, 7-6, 10-9も同様	宮下

No	ページ	修正箇所	修正内容	修正理由	対応(案)	委員
9	4-2		木質バイオマス発電の記載がありますが、バイオマス発電の写真があるとわかりやすいと思いました。		バイオマス発電所の写真と木質バイオマスチップの製造写真を追加しました。	宮下
10	4-6		労働生産性の推移を示す表で線がないため(薄い)表が見づらい。また左の数字は何を表しているのか不明。令和3年度の報告書は記載されています。		線を濃くしました。また、左の数字の説明(労働生産性を示す)を追記しました。	宮下
11	5-1		(3) 高齢級間伐促進(県)での林齢36の下の線は不要と思います。		点検結果報告書に反映します。	宮下
12	6-1	総括の段 4行目 清水川・新屋敷水路	資料編8~9ページの表に清水川・新屋敷水路(南足柄市)の項目がないのはなぜ?		資料編の表に項目・数値を追加します。	岡田
13	6-1	総括の段 6行目 このうち3か所では生物調査を実施しホザキノフサモ・・・整備前と比較して種類の増加がみられ	① 資料編10~11ページで、3つの箇所のうち「西大友排水路」では、水質・動植物①の点数が13で、工事前後で同じ値。これは種数は増えたけれど水質など他の要因がマイナスで点数が同点となったのでしょうか。 ② 生物調査を実施したのはこの3か所だけというニュアンスに受け取った。他の場所でも実施していると思うのですが正しいですか。「生物調査を実施し」は不要と思うので、削除したらどうでしょうか。		① 「西大友排水路」は種数は維持されているという評価なので、点数は変わっていません。他の2箇所では、種類の増加により、点数が増えていますので、6-1の下から3行目、「整備前」の前に、「3箇所のうち2箇所(牛島・寺下排水路、善明川)では」を点検結果報告書に追記します。 ② 点検結果報告書に反映します。	岡田
14	7-1	総括	水質について、地下水モニタリングではR4年度の汚染はない。地下水汚染対策のモニタリングでは秦野市のみがテトラクロロエチレンで基準超過あり。(資料12ページ) とすると、7-6ページの表(地下水モニタリング+地下水汚染対策のモニタリング)の秦野市、水質にある基準超過なしはおかしいのではないかと。	事業内容(3)地下水汚染対策でのモニタリングと(4)地下水モニタリングの結果が混在しているので、整理してほしい	7-1「秦野市を除き」を削除します。	岡田
15	7-2		草刈前後の写真があるがこれは何を意味するのでしょうか?休耕田の借り上げた状況の管理であればその旨記載の方がよいが、できれば雨水浸透弁の設置の写真の方が分かりやすい。		草刈前後の写真に説明を加筆します。なお、雨水浸透柵の設置は個人宅のため写真は掲載できません。	宮下
16	8-2		【事業費】の記載で、80億0,800万円とありますが、これはどこに記載の金額でしょうか?ページ0-9では見られませんでした。		80億0800億円は国庫交付金等を含む全体事業費のため0-9には含まれません。8-2に注釈を入れます。	宮下
17	10-2	下から10行目「2巡目まで・・・」	10-13ページの上の表「実施スケジュール」では1回目2回目3回目と表記されている。これに合わせて、2巡目ではなく2回目にするのがいいのでは。「3期までに実施された2回の調査で得られた7分類群・・・や動物の現地調査結果を用いて・・・」などとしてはどうか。	2巡目という言葉が突然でわかりにくい10-13ページの上の表を参照とするのがいいかもしれません。 Ps. 10-13ページの表の下(6)調査結果の概要に3巡目や2巡目の表記があります。こちらも10-2ページと統一するのがよいです。ただ、直に表をみながら、読むと3巡目という表記もあまり違和感を感じないのですが。	点検結果報告書に反映します。	岡田

No	ページ	修正箇所	修正内容	修正理由	対応(案)	委員
18	10-3	「河川モニタリング調査（環境DNA調査）は、・・・、5年に1回の大規模生物調査の代替え・補完や毎年実施している県民調査員による生物調査へ導入を実現することを目的・・・」	「環境DNA調査は、・・・、5年に1回の大規模生物調査である「河川の流域における動植物等調査」の代替え・補完や毎年実施している「県民参加型調査」（県民調査員による生物調査）へ導入を実現することを目的・・・」 河川モニタリング調査（環境DNA調査）→環境DNA調査 5年に1回の大規模生物調査→5年に1回の大規模生物調査である「河川の流域における動植物等調査」 県民調査員による生物調査→「県民参加型調査」（県民調査員による生物） 7行目 河川モニタリング調査（県民参加型調査）→県民参加型調査 13行目 県民参加による調査 → 県民参加型調査	河川の流域における動植物等調査」10-14ページ、「県民参加型調査」10-17ページに合わせて整理してほしい。混乱するので。	点検結果報告書に反映します。	岡田
19	10-14	②河川のモニタリング調査 ②-1 河川のモニタリング調査（河川の流域における動植物等調査） ②-2 河川のモニタリング調査（県民参加型調査）	②-1、②-2 の河川のモニタリングは②と重複するので、単に河川の流域における動植物等調査 と県民参加型調査 でいいのでは。	整理してほしい。混乱するので。	点検結果報告書に反映します。	岡田
20	資料編	10ページ・11ページ	① アの表 生態系に配慮した河川・水路等の整備 とイの表 河川・水路等における直接浄化対策の違い ② 11ページの下部の※の文 生体系 → 生態系	評価方法が異なるのでしょうか？ HPリンク先にある評価シートの内容は一つなので同じですか・・・？ 10ページの上※3の文や11ページ下部※の文では、理解できませんでした。	①イは第2期までの事業となります。 10ページ※3、11ページ※の文を修正します。 ②点検結果報告に反映します。	岡田
21	資料編	11ページアの表	22番 伊勢原市 藤野用水路 の工事前後の点数	他の河川や水路と異なり、工事後に①水質動植物の数値が大きく減少し、一方②整備手法の点数が大きく増加した箇所です。結果として相殺されて、変化点数23と問題にならない（この施策では良好とされる？） 数値になっています。この現場についての詳細な評価が必要だと思います。	①水質動植物のH24の数値は訂正（誤；20点 正；14点） ②整備手法のH24の数値は訂正（誤；17点 正；23点） ①、②ともに資料編の表を訂正します。H24とH30の①水質・動植物の数値はいずれも14で変わらないこととなります。	岡田
22	資料編	11ページイの表 姥川・八瀬川・道保川・・・の最後についている小さい数字	意味不明なので、説明がほしいです		区間2等の「区間」が抜けていましたので追記します。	岡田
23	資料編	13～15ページ	13ページ14ページの地下水位のデータは地下水モニタリングのデータでしょうか？ 14ページ15ページの地下水質のデータは地下水汚染対策モニタリングのデータでしょうか？ わかるように明記してほしいです。		資料編13ページ1行目【地下水水位】の後に「地下水モニタリング（データ）」、14ページ【地下水質】の後に「地下水汚染対策（調査報告）」を追記します。	岡田

No	ページ	修正箇所	修正内容	修正理由	対応(案)	委員
24	資料編	実績版7-1総括 下から5～7行 「座間市では平成29年に1地点でテ トラクロロエチレンが環境基準 0.01mg/Lを超過」 これに対応する資料15ページのグラ フ	資料15ページの座間市のグラフデータは、平成29年に 基準超過していない。総括の文に対応する、基準超過 した地点のデータを表記してほしい		基準超過した地点のデータ はH29以降となるため、資料 編では、H20からのデータの 変化が確認できる地点の データを採用しています。	岡田
25	その他			河川水路事業評価シートでの点数化では、 ②の整備手法の割合が大きいこと、事業者 だけの視点での評価シートだということ、 が問題です。最終報告にあたり、評価シー トの問題点もあげておく必要はないでしょ うか。	最終評価にあたり検討しま す。	岡田